

じもんから

2004年07月号 (286号)



日本アマチュア無線連盟
青森クラブ機関誌
(02-1-4)

お 知 ら せ

恒例の「海の日」記念公開運用が八甲田丸無線室で、下記によって行われます。最終日には打ち上げ懇親会も計画されています。

記

準 備	7月18日(日)	9時30分から
公開運用	7月18日(日)	10時から15時まで
	19日(月)	10時から15時まで

懇 親 会	日 時	7月19日(月) 18時から
	場 所	アラスカ会館(ビヤガーデン)
	会 費	3000円

SUMMER SALE 開催

7月11日～31日まで「SUMMER SALE」を開催します。
期間中はアンテナ・リグ等の特価品を準備しております。

**第4級アマチュア無線技士養成課程講習会
ただ今受講生募集中です。**

(株) 電技パーツ

青森市第二問屋町3-6-44
017(739)5656

e-mail shop@dengiparts.co.jp url <http://www.dengiparts.co.jp>

おおさか・いけだ総会に参加して

JE7JGG 佐藤 眸

5月23(日)総会当日、安齊さん、宮城県支部のメンバーと朝食をすませ、9時に総会会場の「池田市民文化会館」に向かいました。会場では実行委員会、JLRSの女性の方々が忙しそうに準備をしており、受付では各エリア別に記帳しコールプレート・大会資料を渡しておりました。

私たちには特別に「おおさか・いけだ総会」実行委員会が、会場を自由に見学出来るように、コールサイン入りのネームプレートを用意してくれており、関西支部の好意に感激しました。細やかな心遣いが大事ですね！

また入り口では、PR用のブースを用意してくれており「せんだい・杜の都総会」のリーフレット1000枚を配布する事が出来ました。貰った方々は、ぜひ来年は仙台に行きたいとの暖かい言葉をたくさんいただきました。すこしはお世辞でも嬉しかったですよ！

10時に式典が始まり、今回初めての試みで JR3QHQ 田中透 実行委員長のリードで[アマチュアコード]の唱和を全員が起立して行いました。

日赤アマ無線の総会では良く行われることですが、JARLの総会での今回の試みは新鮮で荘厳な感じがして非常に良かったと思えました。青森県支部の総会でもしようと思っています。恒例の通り、関西地方本部長、原会長、来賓の方々の挨拶がありましたが、その中で、池田市長が池田市の紹介で、ここはNHKの朝の連続テレビ小説「てるてる家族」の舞台として、インスタントラーメン(チキンラーメン)発祥の地として全国的に有名になった所ですので、お土産にはぜひチキンラーメンをと宣伝しておりました。

ちなみに、大会資料の中にチキンラーメンが一個入っており、関西人の商魂の逞しさに感心させられました。

式典の後、議事に入りましたが午前中は理事者側の提案説明、記念撮影、昼食後、午後からは、各議案について20数名の常連の方々がいつも通り赤字財政についての質問です。

中には何を質問しているのか判らない方もおり、総会の質疑がこのままで良いのか考えさせられる場面もありました。いつもは記念撮影をして帰るのですが、今回は来年の総会の視察という使命があるもですから、アップル総会以来はじめて閉会まで会場におりました。

最後に行われた総会のシンボルの引き継ぎには、みんなで舞台上がり宣伝の垂れ幕を掲げ「せんだい・杜の都総会」のPRに一役買ってきました。

最後に第47回JARL せんだい・杜の都総会の、前夜祭、総会の会場をお知らせします。

前夜祭	メルパルク仙台郵便貯金会館(仙台駅東口徒歩15分) 平成17年5月28日(土) 18:00
通常総会	サンプラザホール(仙台駅東口徒歩13分) 平成17年5月29日(日)

青森クラブのメンバーと一緒にいきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

シャックの避雷対策について

de JA7PD

クラブ員の皆さんアクテブにオンエアしていますか。6月16日(水)のロールコールの時、前日の雷雨について話題になりました。次の週に当局から若干雷について話しましたが、クラブ員の皆さんは避雷対策をどの様にしていますか。今のリグはトランジスタ等を使っています。動作電圧も低いですね、したがって雷の衝撃電圧にも自ずと弱いです。アンテナ端子に大体300V以上の衝撃電圧が加われば受信部のトランジスタは一発でお釈迦です。

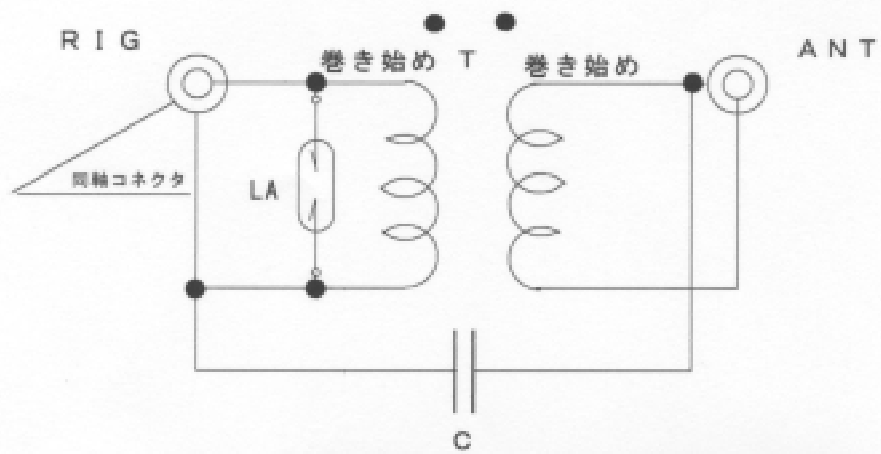
直接アンテナに落雷しなくとも、雷雲と雷雲の間の放電による誘導現象をおこして、二次的な雷害が発生することがあります。また、落雷地点の近くでも落雷時の誘導現象によって雷害が起こることがあります。この両方によって起こる雷害を誘導雷による雷害と言います。これらの現象でアンテナに雷の電気が誘起されます。また配電線に誘起された誘導電圧が配電線を伝わって末端で地中に逃げます。この誘導電圧が伝わって行く途中配電線から引き込み線に入りコンセントからリグに進入したりします。

この誘起された衝撃電圧をリグに入って来ないように対策を講じなければなりません。当局はいろんな見聞を参考にしてアンテナからの進入を防ぐ対策をしたものを紹介します。

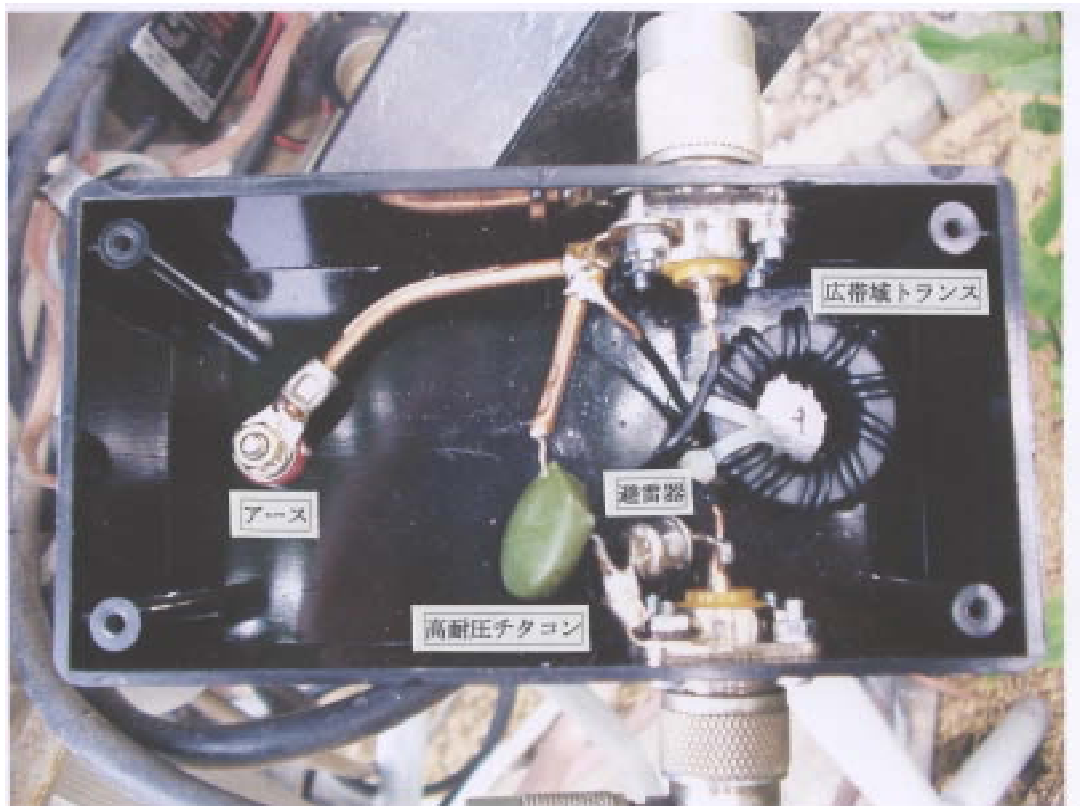
必要なものは、

- ・フエライトコア (FT - 114 - 43) 1個
- ・芯線が1mm (出力200W使用可)のテフロン線または1.6mm ビニル電線 (普通のビニル平行線でも可) 1m
- ・避雷器(火災報知装置等のジャンク品を利用、手に入らなければ同軸ケーブル用) 1個
- ・同軸M型コネクタ2個
- ・ケース (プラスチック100×70×50程度) 1個

フエライトコアとテフロン線等で広域トランスを作ります。ただし広域トランスの使用周波数は1.9MHzから上は50MHzが限界のようです。145MHz以上は巻き線の線間浮遊容量で不可のようです、同軸ケーブルを使って実験していないのでわかりませんが、いつか試して見る予定です。巻き線は2本まとめて6回まきます。それを図及び写真を参照に結線して出来上がりです。また電源はコンセントとシャックの途中に20W程度のブレーカー入れオンエアしない時はブレーカーをOFFにします。これらを施すことによりアンテナに直接落雷しない限り、シャックを雷から逃れることができます。雷はリグの大敵です、くれぐれも雷の餌食にならない様気をつけましょう。



C: $0.1 \mu\text{F}$ (高耐圧) T: フェライトコア (FT-114-43)
 巻き線: テフロン線 (芯線1mm程度) 2本揃えて6回巻き
 LA: 避雷器 (300V以上で放電するもの)



アマチュア無線局での免許申請について

昔は申請書類を買ってきて、記入してから郵便で送るとというのが当たり前でしたが、コンピュータが普及し、申請用紙を印刷して記入する方法が無線局は無銭屋さんなので儉約(?)する方法の一つでした。

そのうち、プログラムをダウンロードしてフロッピーと申請書(収入印紙を貼る部分1枚)と提出届という箇条書きに書いたものの三点セットを提出するだけで再免許が完了という時代に突入してはや数年、現在は電子申請というインターネットを使った申請方法が可能となりました。

今回は、FD申請と呼ばれる方法について説明いたしましょう。

FD申請では、まず、総務省の「電波利用ホームページ」からソフトをダウンロードと言って、自分のパソコンに入れないといけません。パソコンを使ってる人でしたらそれ程難しくないんですが、普段使い慣れてないと少し大変かもしれません。ただ、これさえ終われば後は入力方法だけの問題なので頑張る必要があります(笑)

さて、入力するには自分の住所や名前、コールサイン等を入れて第一段階が終了、次に工事設計書の内容を入力し、選択したり入力したりして終わると第二段階が終了という感じです。

入力が終わればフロッピーと念の為、自分のパソコンや他のフロッピーに保存するとデータ入力は終わりです。

これで作業としては三分の二は終わった感じで、後は次の事をします。

- ・申請書を印刷する為、「内容確認」の部分から印刷をする
- ・手書きでもワープロでもいいので、「提出届」という題名でフロッピーに保存したファイル名や氏名、住所など決められた事を箇条書きで書く
- ・フロッピーラベルにファイル名と申請者氏名、種別(アマチュア無線局)免許申請なのか再免許なのかを記入、貼る

あとは、封筒にあて先を書いて、収入印紙を貼って、簡易書留等で発送するだけで申請は終わりになります。

今は、入力に旧電波形式は入力できないので新電波形式で入力する分が手間ですが、入力してしまえば5年後に若干変更するだけで簡単に再免許が可能になるというメリットはあります。

入力にはなれるまで大変ですが、パソコンを使ってる人は一度慣れてしまうと病み付きになってしまうかも(?)かもしれませんね。

今回作ったフロッピーを次回、電子申請で利用する事もできるようになりましたので、保管して次は電子申請で、という事も可能となります。

一回講習会でもやってみればいいんですかね？

(テキスト作りが一番大変かも)

J G 7 S A F

『北投石』 JE7KCH 斉藤照子

秋田県田沢湖に近い、国道341号線の途中に玉川温泉があります。

付近は「焼山山麓」というようですが、緑濃いはずの6月にそこはゴツゴツした岩肌で噴煙が上がってるのです。

道路右側の黄色の湯の華を見ていると、夫が左側の案内板に注目していました。『北投石』との出会いです。いつだったかテレビ番組の特集で名前は知っていたそうです。

二人でそんな会話をしていると、付近にいる人が話しかけてきます。

『この石は普通の石より重くて簡単には持ち運べないんだ。比重が他のと違う』

もちろん持ち出し“禁”。それでも欠片のようなものはありました。

さらに進むとゴボッ、ゴボッと噴き上げる源泉。摂氏98度。1分間9000ℓ（ドラム缶45本分）の湧出量があるのだそうです。源泉はラジウムを含有していて長い間にその成分が石化し、日本唯一の特別天然記念物『北投石』となりました。その石というか、岩とかのあちこちに、たくさんの人々がゴザを敷いて横になっているのです。しかも黄色に染まったガスの吹きだし口に近い場所を陣とって。

真似をしてみました。暑すぎる真昼の太陽と地熱の両方で、背中や腰が焼けるようでした。すぐに汗だくになり、30分程ゴロゴロしたら充分でした。持参した冷たい水のおいしかったこと。先に音を上げた夫が先客達とおしゃべりをしていました。

と、テント小屋の中から一団体が賑やかに立ち去りました。諦めていたテントの中に急に強い興味がわいてきました。覗き込むと「此处空いてるよ」「どうぞ！」と声がかかります。「あんた方、丁度良い時に来たね」つい、またもや、1枚のゴザに二人で横になってしまいました。

「低温火傷が怖いから同じ姿勢はダメ」「裸の方が効き目があるよ」「無料治療だから」「医者に見放され病人がいっぱい治っている」「でも、毒と薬は紙一重。1回45分以上はダメだよ」そのテントは隙間だらけでしたが、太陽の眩しさ避けと、気兼ねなく裸になる為のテントなのでしょうか。

「地元人でなく、東京人が最初にテントをかけてくれた。東京の人は金持ちだからね。それが増えて今は三つになった」

私はただ目を閉じて横になっていました。この会話を引き出したのは全部GGF。普段の寡黙さはどこへやら。ひょっとしてこれが奇跡？『奇跡の石』という『トルマリン』と『北投石』に続けて出会いました。

玉川温泉は三度目になりますが過去二回は若い頃だった為何気なく通り過ぎていました。

気になり出したのはやはり『歳』の所為？

モバイルアンテナのアースの取り方

d e J A 7 P D

クラブ員の皆さんは、モバイルアンテナの**ボデーアース**（ラジアルの役目）をどのように取っていますか？、ある局は、大事な愛車の塗装を剥ぎそこにねじ止めしたり、或いは近くのボルトに取り付けるとか、いろいろ工夫されていると思います。トランクに付ける場合はいとも容易いですが、ことルーフレールとなると頭を抱えます。

市販のVU帯のアンテナにはノンラジアルのアンテナもありますが、HF帯用には探したところ市販されていないようです。特にHF帯では車のボデーがアース（ラジアルの役目）の役割をしますので、アースの取り方の良し悪しで電波の飛び具合に極端な差があります。

また**SWR**も下がりません。かと言ってアンテナ基台の付近にアースを取り付けるボルトがあればベターですが、無ければ電波を良好に飛ばすため涙を呑んで愛車の塗装を剥ぐ羽目になります。

これではアマチュアらしくありません、当局もアースに悩まされ愛車のレガシイに傷をつけるのが忍びなく、とは言っても付近にボルトの頭が無し、思案しているところ**CQ誌**に**FB**な**アース**の取り方の記事が掲載されていました。早速実践してみたところ非常に良好な結果を得たのでクラブ員の皆さんに紹介します。

現在これで当局は7MHz、14MHz、21MHz、50MHz、144MHz及び430MHzに**QRV**しています。

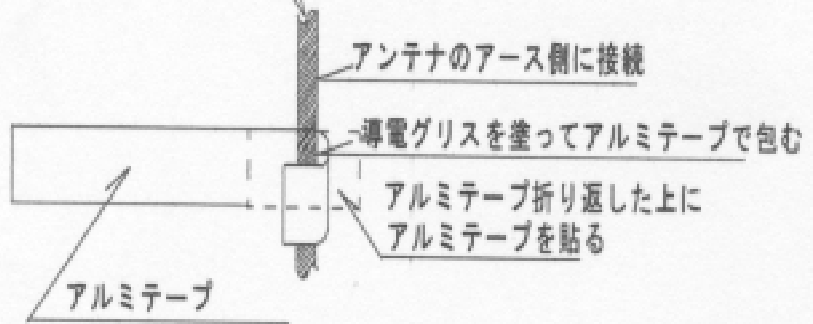
ちなみにHF帯の**SWR**は最良値で**1.2**です。このアースを施工（大げさですが、Hi）するにあたり必要資材は、ホームック等で売っているアルミ接着テープ（幅5cm）約1mと、あれば導電グリスと同軸ケーブル**3D-2V**の網組線若干、添付図面と写真を参考に施工すれば完成です。周波数の低いバンドの場合アルミ接着テープの長さは長いほどいい結果が出るようです。21MHz帯では長さは30cm程度で十分です。

これで愛車に傷を付けることなく良好なアースが取れます。

皆さん試してみてください。

モバイル用のアースの取り方

3D-2V同軸ケーブルの外皮編線使用





青森クラブ局 (J H 7 Z Z C) 免許電波形式、空中線電力及び機器

1、電波形式

- (1) 1 . 9 M H z 帯 A 1
- (2) 3 . 5 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 5 (S S T V)
- (3) 3 . 8 5 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 5 (S S T V)
- (4) 7 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 5 (S S T V)
- (5) 1 0 M H z 帯 A 1
- (6) 1 4 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 5 (S S T V)
- (7) 1 8 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 5 (S S T V)
- (8) 2 1 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 5 (S S T V)
- (9) 2 4 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 5 (S S T V)
- (10) 2 8 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 3 , F 5 (S S T V)
- (11) 5 0 M H z 帯 A 1 , A 3 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 3 , F 5 (S S T V)
- (12) 144 M H z 帯 A 1 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 3 , F 5 (S S T V)
- (13) 430 M H z 帯 A 1 , A 3 J , F 1 (R T T Y , P S K 3 1 等)
F 3 , F 5 (S S T V)
- (14) 1200 M H z 帯 F 3

2、空中線電力及び機器

- (1) HF帯+5 0 M H z (出力50W)
ケンウッド TS - 6 8 0 S + TOKYO HY POWER (HL 66V)
- (2) HF帯+5 0 M H z +144MH z +430MH z
YAESU FT-767 GX (HF:50W, V/U:10W)
- (3) 144MH z (オールモード、50W)
ケンウッド TR - 7 5 1+ TOKYO HY POWER (HL 62V)
- (4) 430MH z (オールモード、50W)
ケンウッド TR - 8 5 1+ TOKYO HY POWER (HL 60U)
- (5) 1200MH z (ハンディ機 1W)
ケンウッド TH - 5 5

クラブ主催の**各種行事に参加しよう**

原稿をお願いします e-mail 大歓迎

ロールコールに参加 しよう

青森クラブのロールコールは毎週水曜日です。

- ・時 間 午後 8 時から
- ・周 波 数 1 4 5 . 6 2 M H z F M
- ・ネットコン J R 7 B V Q (日野さん)
- トローラー J E 7 K C H (齊藤さん)お二人交替で。

機関誌「じょんがら」へ寄稿のお願いです。

- ・原稿の送り先は下記、渡辺 (J I 7 B X K) をお願いします。
- ・写真、画像のみでも結構です。(コメントもよろしく)
- ・ワープロやパソコンで印刷したものをお寄せいただくときには、左右の余白共 2 0 m m 程度にして下さいと好都合です。
- ・月末までに頂戴できれば翌月号に、間に合います。

私の場合、**避雷対策は避雷針とそれに見合うアースを設置している**ことです。従って私のシャックの機器が被害をうけることは充分考えられます。しかし、他の部屋の電気器具の損傷を防ぎ、近所の方々へ迷惑をかけないことが最も重要なことですので、全ての無線機器にはシャックに専用のスイッチボックスを設け、サーキットブレーカーを経由して電力を供給しています。落雷の恐れがあるときはそれを切ることで、被害を自分のところだけにとどまるように心掛けています。外出時や就寝時等にはスイッチボックスのサーキットブレーカーをOFFにしています。

表紙は J I 7 K V E 前田愛子さんの Q S L カードです。

交信日時 1989.03.21 10:57 五戸町(J C G # 0 2 0 0 3)

発 行 者 J A R L 青森クラブ

発 行 日 2 0 0 4 年 0 7 月 1 5 日

編集担当者 渡 辺 聰 明 (J I 7 B X K)

〒030-0811 青森市青柳 2 - 5 - 6

電話017-734-3810 留守電・Fax 017-776-6220

e - m a i l marumero@jomon.ne.jp